

■ 日程

2024年(令和6)年6月10日(月)～13日(木)

(会議:10～12日、現地視察:13日)

■ 開催地

ホーフブルグ王宮国際会議場(オーストリア、ウィーン)

■ 概要

- “Natural hazards in a changing climate - How to manage risks under global warming?”をテーマとした国際防災学会インタープリVENT2024がオーストリア・ウィーンで開催され、世界の25の国と地域から500人以上が参加した。(日本からは30名)
- 「気候変動」「リスクガバナンス、政策とレジリエンス」「モデリング・シミュレーションのための観測・実験」「ハザードとリスク評価」「構造物・非構造物対策」「危機管理と復旧」の6テーマで議論が交わされた。
- 閉会式では、気候変動適応のため、ソフト・ハード対策や、若手の育成を進めていくことが提言された。
- 次回は、2026年に日本・北海道で開催される。
(2028年はノルウェーで開催予定)

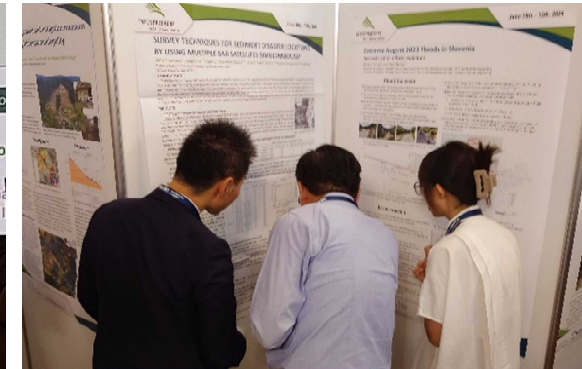
■ インタープリVENT (INTERPRAEVENT) とは

- 土石流、地すべり、雪崩等の災害の防止・軽減に関する学際的な研究を促進し、防災技術・知識の普及を図ることを目的として、行政組織の技術者と大学などの研究者が連携して組織された防災に関する総合的な国際学会。
- 1967年、オーストリアで多発した土砂災害等を議論するため、災害防止に関する種々の領域の研究者及び技術者が集まり討議したのが始まり。日本は1992年から正式メンバー。
- 日本の開催実績:2002年長野、2006年新潟、2014年奈良、2018年富山

※INTERPRAEVENT(インタープリVENT)の語源
ドイツ語「Interdisziplinäre Pravention」(「地質・地形・環境・森林・気象・水文・土木等を取り入れた学際的な防災」)の「Inter」と「Pravention」をつないだ略称



オープニングセッション(6/10)
左から、エホルド氏(オーストリア連邦環境庁)、
フォルッガー氏(モデレーター)、ミクラウ氏
(オーストリア連邦政府 農業・地域・観光省)



ポスターウォーク(6/10)
研究成果を議論する金澤主研



次回開催に向けたプレゼンに登壇する
草野砂防部長(6/13)



現地視察で紹介されたがけ崩れ対策(6/14)

■ 日本からの参加者

砂防計画課 : 草野 慎一 砂防部長
山田 拓 砂防計画課付
国総研 : 田中 健貴 主任研究官
金澤 瑛 主任研究官
大学 : 内田 太郎 筑波大学教授
小杉 賢一郎 京都大学教授

他 計30名